

7月25日「Google初級講座」in稚内中央小学校

7月25日(火)、稚内中央小学校教頭 佐々木玲先生を講師に、表題の講座を開催いたしました。

GIGAスクール構想では、GIGAスクールの標準仕様に含まれている汎用的なソフトウェアとクラウドの環境を活用して情報活用能力の向上を図ることが求められているわけですが、冒頭、佐々木教頭先生から、「授業支援ツールは操作が簡単で使いやすく、双方向のやり取りがしやすい等々の利点があるが、高校や社会では必ずしもこのようなツールがあるわけではないので、将来子ども達が困らないように世界標準のアプリを使えるようにすることが大事。その上で、ロイロノートなどの授業支援ツールはIDが様々なアプリ・サービスと連携できて使い勝手が良いので、使用するのが良い。」と、Googleを活用する意味についてお話がありました。

続いて、「クロームブックやグーグルアプリの基本操作と教材作成練習」「アプリの特性と授業利用ポイント」「クラウドの利用・教材の配布や共同編集等と授業・教室の在り方」の3つの柱でモニターに操作画面を映しながら説明していただきました。参加者は説明を聞き、モニター画面を見て、自分のタブレット端末を操作しながら体験的に学びました。

クロームブックの活用では、「スクリーンショット(以下スクショ)」の利用の仕方、スクショしたものをドキュメントやジャムボード等に貼り付け教材化する方法を学びました。実際に「NHK for School」の番組を利用し、モンシロチョウのよう虫から成虫になる動画をスクショし、4枚の静止画で変化の様子をまとめるという実技を行いました。その際、Web上にある各種サービスを利用する際は、

①利用はこちらの情報を提供するということ(注意点)

②著作権は常に意識して仕事をする(授業での利用については著作権フリー)

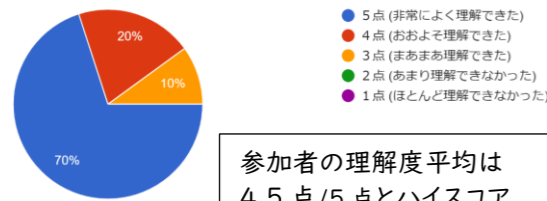
と留意事項についても説明がありました。

講座の終わりには、佐々木教頭先生から「タブレット端末の授業での活用は全国との差は大きい。活用を進めて児童生徒に情報活用能力を育成することを大事にして欲しい。学習eポータルを自治体として早期に契約しMEXCBT(文科省が開発したオンラインの学習システム)等を利用できるようにして欲しい。」とICT活用推進への期待とそのための条件整備についてお話がありました。また、一昨年、所員研究で作成した「情報活用能力一覧表」についても取り上げていただきました。(所員の皆さんに熱心に取り組んでいただいた成果物なので、嬉しく思いました。教育研究所のクラスルームに掲載しました。)

「講話と実技」というスタイルで様々なアプリの基本操作や活用の仕方について学ぶことができ、大変有意義な講座となりました。講師を努めていただきました佐々木教頭先生、そして、参加された皆さん、ありがとうございました。

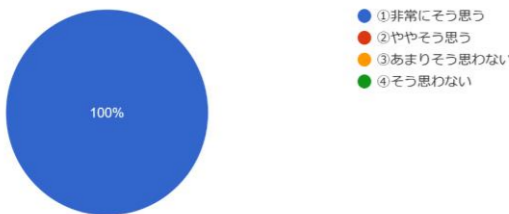


1.研修内容の理解度は何点ですか?



参加者の理解度平均は4.5点/5点とハイスコア

2.研修内容は今後の職務に役立つ内容でしたか?



参加者感想

- ・今回参加できていない先生方にもお伝えしていきたいと思っています。
- ・ジャムボードやグーグルフォームを使って学校にいてもいなくても同じように課題に取り組んで子どもたち同士が活発に交流できる授業づくりに活かしたい。
- ・ジャムボードを使って授業を進められそうだと思う
- ・Jambordで思考ツールを共有アイテムとして提供していただいて、今後使い倒したいと思います。
- ・jamボードを使った授業、分掌の反省に活用したいです。
- ・佐々木教頭先生の共有していただいた思考ツールや、分割背景はすぐにでも活用したいと思いました。また、様々なグーグルアプリの使い方を基礎から学び直すことができたので、2学期の授業に活かしていきたいと思っています。
- ・ICT部会での実践発表や普段の授業準備を素早くするためにいかしたい。

研修講座への要望

- ・とてもわかりやすい研修ありがとうございました。メクビットで問題を配信するなどの研修をすると多くの稚内市内の先生方が助かるのではないかと思います。
- ・よりピンポイントな講座のほうが、ターゲットを狙いやすいのでは。
- ・今日のようにICTの実技を交えた研修があると嬉しいです。
- ・レベルに合わせた内容が嬉しいです。講師の先生、研究所の先生方、ありがとうございました。
- ・少人数の講座がたくさん必要かなと思いました。
- ・グーグルは大分使えるようになってきたので、ロイロノートの使い方を学びたいです。また、主要教科での実践例はよく見かけますが、その他の教科での実践例は少ないので、そのようなものもぜひ知りたいです。
- ・①全国学力学習状況調査の分析ツールの交流。東小学校の先生がとても使いやすいツールを作っていました。②ロイロノート体験講座があれば、ロイロの良さが伝わり、市として導入できるようになるのではないかと。
- ・「まなべてよかった」とすぐ思えた講座でした。先生方の要望に基づいて講座を提供して下さったことに感謝します。
- ・日頃の教育活動にいかせるこのような研修が、出やすい時期にあるとよいと思っています。
- ・今回は研修の設定をありがとうございました。ICTに関してはどんどん知っていきたいと思います。今回は私には少しレベルが高かったのですが、初歩的なことも教えていただいたのでよかったです。

今後予定している講座

- 英語教育・ALT活用研修講座【9月下旬】
9/12(火)に予定していましたが、1回目の講座が7/28であったこと、準備の都合により9月下旬に変更させていただきます。実施日は改めてお知らせいたします。
- 特別支援教育研修講座【日程未定】
- 学校図書館活用実践講座【10/24】
- 小中連携一貫教育実践交流会(課題別学校間交流②)【12/1】
*学習評価・校務支援システムや学習支援ツール、国語、算数・数学の授業づくり、等について検討中です。

Google講座パート2

～少人数によるアプリ・機能別講座～
ICT活用状況等調査から、小教員の「スプレッドシート」「ドキュメント」「フォーム」「ドライブ」の活用が低いこと、小中共に「スライド」の活用が半数強ということが分かっています。この調査結果とこの度の要望から、アプリ別に機能や活用事例を学ぶ、少人数の講座を企画したいと思います。

「外国語指導の演習」夏季授業づくりセミナー2023

7月28日、例年9月に行っていた英語教育研修講座(ALT活用ワークショップ)を宗谷教育研修センターの英語部会と共催で実施しました。当日の講座では、講師の奥村先生より、「主体的な学びを目指した外国語の授業づくり～楽しく学べるコミュニケーション活動を通して～」と題してご講話いただきましたが、ペア等による活動が随所に取り入れられ、学習指導要領の重要なポイントや外国語の授業づくりについて、体験的に楽しく学ぶことができました。

是非、多くの先生方に小学校英語についての理解を深めていただきたく、稚内市教育研究所のクラスルームに外国語教育研修講座の動画と資料を投稿しました。70分ほどの動画ですが、是非、ご視聴ください。

動画の概要

「主体的な学びを目指した外国語の授業づくり ～楽しく学べるコミュニケーション活動を通して～」

中標津町立丸山小学校 主幹教諭 奥村 康史氏

チャプター

- ① (00:00-04:18) ウォーミングアップ(自己紹介の工夫)
- ② (04:19-08:27) 翻訳機のメリット・デメリットは?
- ③ (08:27-11:56) 外国語活動・外国語の目標
- ④ (11:56-16:57) 言語活動とは
- ⑤ (16:57-24:58) 言語活動例～スモールトーク
- ⑥ (24:58-41:19) 「言語活動」にチェンジしてみよう
- ⑦ (41:19-45:06) 単元計画の作成(授業のゴールをイメージする)
- ⑧ (45:06-53:02) 授業の振り返り・主体的に取り組む態度の評価
- ⑨ (53:02-1:06:00) 小学校の「読み」「書き」はどうするの?
- ⑩ (1:06:00-) 小学校外国語科のプチ情報

外国語活動や外国語科の目標には「…言語活動を通して、…資質能力を育成」とあります。

言語活動とは何か、言語活動と指導・活動との違いは何かなど、具体的事例をあげての説明は必聴です。

他にも、昨年度の英語研修講座で要望があった「評価」や「読み・書き」についても、実例や指導要領に基づきわかりやすく説明していただいています。「主体的に取り組む態度」の評価については、他教科でも参考になります。

小学校の内容が中心ですが、中学校の英語担当の先生方にもご視聴いただきたい内容です。

*大谷高校吹部の生徒さんたちがコンクールに向けて熱心に練習をしていました。演奏曲が流れていたり、音声が聞き取りにくかったりすることがありますが、ご理解ください。